

第7回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト 地区事務局について

1. 地区事務局におけるご依頼事項について

地区事務局の皆さまには、以下に記す業務をお願いいたします。

(1) 地区大会の開催準備業務

- ① 地区大会の開催にあたっては、本実施要領及び競技規則に則り、地区事務局が実施し、地域ぐるみで大会を盛り上げるようにしてください。
- ② 学校や公共施設等の協力を得て、開催日程、会場等の手配を行ってください。

(2) 参加チームの募集業務

- ① 5月上旬を目処に、募集案内のチラシを地区事務局宛に送付しますので、**参加チームを公募してください。**（5月上旬～6月上旬）
★参加者及び参加者の保護者には、募集要項・参加申込書をよく読んで十分理解していただいた上で、参加されるよう指導してください。
- ② **応募チーム数を発明協会へご連絡ください。**
※締切；6月30日（木）
この時点までに取り纏めたチーム数分、基本材料を発送します。
この時点以降に地域で正確な数字を取り纏めた後での申し込みも可能です。
- ③ 発明協会へ直接問合せきた応募チームにつきましても該当地区事務局での受入れをお願いします。

(3) 参加チームに対する説明会

- ① 参加チームに対して今年度の競技課題及び規則を説明してください。
（ルールブック参照）
併せて、全国統一の基本材料を参加チームに配布してください。
※基本材料は登録済の地区事務局へ6月上旬より順次発送予定です。
★説明会は原則として6月に1回（半日から1日程度）開催してください。
★説明に係る指導員謝金は実施報告書を基に支給します。
※1日1人当り×2人まで、または 半日日当り×4人まで

(4) 参加チームに対する創作指導会

- ① 参加チームに対する技術相談や指導を行うための創作指導会を開催してください。
★創作指導会は原則として2回開催してください。
※2回以上開催しても謝金支給は2回分までです。
★創作指導に係る指導員謝金は実施報告書を基に支給します。
（半日日当り×5人×2回まで）

(5) 地区大会

道府県の発明協会等と相談して極力都道府県大会を開催することを推奨します。
また、都道府県大会を開催する場合には地区事務局とは別に都道府県大会事務局をおくことができます。

- ① 地区大会開催の周知を近隣地区内に行い、一般の来場者拡大に努めてください。
- ② 地区大会当日の開催事務局業務を行ってください。
- 会場の準備・設営（競技コース、地区大会看板、競技用備品等）
 - 全国少年少女チャレンジ創造コンテストの事業紹介
 - 競技開始前の車両検査作業（大きさ等が仕様範囲内かどうかの確認等）
 - 審判の役割を決めてください。
 - i) 走行性能の評価を行う審判（審判A）
 - ii) 作品の工夫点やからくりパフォーマンス内容の評価を行う審判（審判B群）
 - ※審判B群は複数人の固定メンバで、同一基準で全作品を公平に評価してください。
 - 競技時の採点作業
 - 競技規則に基づいて採点・評価してください。（ルールブック参照）
 - i) 走行性評価と ii) パフォーマンス評価は、人を変えて行ってください。
 - i) 走行性能評価の採点（審判Aによる採点：50点満点）
 - 作品の走行状態を見て採点してください。
 - ii) 作品の工夫点及びからくりパフォーマンス評価の採点
 - （審判Bによる採点：50点満点）
 - アイデアシートにより事前に申請されたアイデア等に関して評価項目毎に全審判が評価し、全審判の採点結果の平均値をチーム成績としてください。
 - 審判構成は複数が望ましいが、地区事務局の体制によっては、一名でも可。
 - その他地区大会進行に係る作業
 - 競技終了後、成績を基に最優秀チームの選考を行ってください。
 - ※地区事務局代表者は、最優秀成績チームと2位のチームまでを全国大会出場候補チームとして推薦することができます。
 - ★全国大会（11月26日（土））に参加できないチームは、推薦しないでください。
 - ★地区大会は原則として夏季休暇期間内に開催してください。
 - ★地区大会において優秀な成績を収めたチームには、地区事務局より賞状や記念品等を授与し、より達成感を得られるようにすることを推奨します。

- ③ 地区大会終了後、速やかに下記の報告書等を発明協会に提出してください。

（9月12日（月）締切厳守）

- ・ 地区大会の参加全チームの成績一覧、上位2チームの採点票
- ・ 実施報告書
- ・ 優秀作品（上位2作品）の写真及び動画（約1分程度）
 - ※優秀作品の写真及び動画は全国大会出場チームとして選考された際に、Web投票用のインターネットに公開します。
 - 従って、競技時の動画でなく、競技終了後（上位2作品の確定後）にWeb公開用の動画を撮影することが望ましい。
 - ※写真はWeb公開するため、作品のみ写っている写真にしてください。（チーム員と作品との記念写真的なものは不可）
 - ※動画は、ビデオカメラに限らず、デジカメ、スマホ・携帯電話で撮影されたも

のでも結構です。

・優秀作品（上位2作品）のアイデアシート

★近隣の事務局と合同で行った場合や都道府県大会を行った場合でも、報告書は各地区事務局毎に提出してください。

★地区大会に係る指導員謝金は各地区事務局毎の実施報告書・謝金報告書を基に支給します。

2. 開催日程について

参加者の公募、説明会、創作指導会及び地区大会に実施日程に関しては、各地区事務局において検討の上、決定し発明協会にご連絡ください。

★地区大会の開催計画書を発明協会に提出してください。（6月中旬）

3. 地区事務局にてご準備していただくもの

地区大会実施に係る各種手配及び機材の調達・準備をお願いいたします。

- ① 説明会、創作指導会及び地区大会の会場
- ② 説明会、創作指導会及び地区大会の実施報告書添付写真用のカメラ等
- ③ 創作指導時等の工具及び消耗品（工具、接着剤、絵具等）
- ④ 地区大会時の競技エリア設営機材（テープ）
- ⑤ 地区大会の写真及び動画撮影機材（カメラ・ビデオ・スマホ・携帯等）
- ⑥ その他、地区大会実施に必要なと思われるもの（賞状、賞品等）

4. 創作指導時のガイドラインについて

本事業は、チームメンバーによる創意工夫・課題解決にチャレンジすることが大きな目的になっていますので、参加者に対する創作指導においても「教える」のではなく「考えさせる」指導を行ってください。

(1) 全般指導について

- ① 参加者からの質問に対しては、回答を1つ説明するのではなく、ヒント的な事柄あるいは現象を複数挙げて参加者自身に考えさせてください。
- ② 参加者が考えた工夫やアイデアの良い点を極力褒めて創造意欲を高めてください。
- ③ はつめいキッズのホームページに、過去の作品写真・動画が公開されていますので参考にしてください。

(2) テーマ及びからくりパフォーマンスについて

- ① 最初からくりパフォーマンスのテーマ（何を紹介するか？）を考えさせてください。
<例> 興味のあるもの、話題になっているもの、特産物・有名なもの、みんなに知ってもらいたいものなど
- ② 紹介したいものを的確に表現するからくりパフォーマンスを考えさせてください。
※からくり動作だけでなく、作品の形状やデザインによる紹介、動作時の時間経過とともに変化するストーリー性のあるからくりなども効果的です。

(3) からくり動作機構について

- ① 動力源としては、電池＋モーター、でも結構ですが、山車の車軸の回転力やピタゴラ

装置の様な位置エネルギーや運動エネルギーを用いたものなどが1つでもあると加
点対象となります。

- ② からくり動作機構としては、ギヤ、カム、クランク、リンクなど各種の機構がありま
す。
- ③ 動きのパフォーマンスだけでなく、光のパフォーマンスも考えられます。点灯制御は
デジタルだけでなくアナログ制御（カムなどのからくり的なスイッチの組み合わせ）
は子供でも身近な材料と工夫次第でできます。

(4)材料について

支給する材料は基本的なものです。走行用やからくり用として各自に考えさせて使って
ください。

- ① 走行用タイヤ等には摩擦抵抗のあるものを考えさせてください。
- ② 画用紙も工夫次第で丈夫なものに変身します。加工後に前面に瞬間接着剤を塗り込む
とプラ板以上の強度になります。
- ③ 自己調達する材料については、極力家庭内にある廃品などを活用して新たに購入する
こと、特に高額な部品等は控えるように指導をお願いします。
- ④ 部品単品では高価で配線等も難しい電子回路・部品等は、用途は異なるが部品群の調
達用としてホームセンター等で販売されている安価な商品を購入して分解・再利用する
ことも考えられます。（特にセンサー及び関連電子部品類）

(5)キャラクター、商標の利用

作品及びチーム名・作品名に著名なキャラクターやゆるキャラ、商標等を用いる場合は、
権利者の許諾を必ず得てください。

(6)チーム名・作品名について

チーム名と作品名は同一にならないようにしてください。

また、作品名はからくりパフォーマンスの内容を想起させるものとしてください。

(7)関連書類、追加情報等について

関連書類・書式データ並びに、今後の追加情報については、全て
はつめいキッズ HP（一部は指導員専用ページ）にてお知らせします。

<http://kids.jiii.or.jp/>

| |
|--|
| <問合せ先>公益社団法人発明協会 青少年創造性グループ 唐木田、芹澤 |
| 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-14 TEL : 03-3502-5434 |
| E-mail : t-karakida@jiii.or.jp y-serizawa@jiii.or.jp |